

Mercure des Arts 2017 年活動報告書

1. [ご挨拶](#)
2. [アクセス解析資料&本誌のコンセプト](#)
3. [年間企画賞 \(2015 年、2016 年、2017 年\)](#)
4. Mercure des Arts メンバー執筆陣による [2017 年自薦ベストレビュー&コラム](#)
5. 記事一覧 (2015/10/15 創刊号～2017/12/15 号)
 - a) Select [Backstage](#), [CD Book Pickup](#)
 - b) [Column](#)
 - c) [Concert Review](#)



ご挨拶

平素より大変お世話になっております。

本誌も、2015年10月創刊から本年で3年目を迎えることとなりました。

昨年2017年には本誌フライヤーを作成、東京、神奈川、滋賀、京都、大阪、水戸、札幌など15ホールに配架いただき、おかげさまで閲覧数を伸ばすことができました。

2017年9月には国立国会図書館インターネット資料収集保存事業WARPの収集対象と認定され、10月なかばに諸手続きを終え、現在、公開されております。50年後、100年後の人々が今日の音楽界の動向をヴィヴィッドに読み取ることのできる貴重な資料となることを確信し、WARPへの収蔵を大変嬉しく思っております。これもひとえに皆様方のご助力の賜物と心より感謝申し上げます。

本誌は、批評という大きなバイアスのもとに、創生と享受の新たな回路を生むべく、「Back Stage」で各地のホール、オーケストラ、マネジメントの方々が企画公演への情熱を発信、「五線紙のパンセ」では、中堅若手作曲家の方々が創作への想いを発信、「コンサート・レビュー」では直裁かつ丁寧な評を月平均20本近く掲載、また海外を含む多彩なコラムと、それぞれが響き合い、照応しあうダイナミックな誌面作りを目指しております。

また毎年末、優れた企画に贈る「年間企画賞」をレビュー担当のレギュラー執筆陣全員の投票により選出、選評とともに発表、制作と批評の眼差しの交点を提示しています。

今後も、印刷媒体にはない特性を発揮する一方、ウェブ媒体にありがちな時々刻々更新に追われる消費情報でなく、読み捨てされない「価値」を追求してゆきたいと考えます。

さて、本誌2017年の活動につきまして、ここにご報告いたします。

年間の閲覧データ、2015年、2016年、2017年年間企画賞、レギュラー執筆陣自選ベストレビュー・エッセイ、創刊以来の記事一覧をまとめたものです。お目通しいただければ幸いです。

今後とも変わらぬご助力を賜りますよう、どうぞよろしく願い申し上げます。

2018年3月1日

Mercure des Arts 編集長

丘山万里子